

2022年(株)アルファ・メンテック 後半の安全活動取り組み

2022年10月28日

2022年(株)アルファ・メンテック 安全健康活動計画の振り返り (前半)

	2022年計画	2022年前半の振り返り	2022年前半の反省を踏まえた後半の取り組み		22年				
	(定量的に記入して下さい)		出来た事	出来なかった事	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	
1. 社内の会議や安全衛生委員会の場を中心に人命尊重の理念の再確認 → トップのフェルトリーダーシップ及びフォロー	<ul style="list-style-type: none"> ①コロナ感染防止対策 現行事項を更に徹底して継続して行っていく。 ②年頭に経営方針及び安全健康活動を具体的に説明し、方向性を明確にする。2022年から自社のプライドを【一声かけて気にかけて「相互注意」のアルファ・メンテック】に変更した。 ③毎朝、監督者ミーティングと全体朝礼を継続実施(コロナ対策処置) ④所長計画行事・会社主催行事等を計画してコミュニケーションの場を設け、働きやすい職場環境を作り、従業員の「働きがい」意識を向上させる。 ⑤監督者会議・全体朝礼時に所長安全訓話を継続実施し、フェルトリーダーシップによる、「安全最優先意識」を植えつける。 ⑥安全衛生協議会を毎月実施する、 	<ul style="list-style-type: none"> ①コロナ感染拡大防止策対応(2022/4/1発信)に基づき、継続して対応した。(6/1現在感染者なし) ②年頭に当社のビジョンと安全衛生管理方針を説明。 ③毎朝、監督者会議でその日の作業内容を共有し、全体朝礼に反映させたが、理解度不足がある。 ⑤5日の監督者会議・全体朝礼時に、所長訓話を通じて全員に「安全最優先」を常に意識させている。 ⑥毎月計画的に実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑤1回/週の監督者会議及び毎日の監督者会議内容を全体朝礼時に周知し安全意識を常に高い水準で継続できるように周知した。又、所長訓話を通じて全員に「安全最優先」を常に意識させる事を毎日実施した。 ⑥毎月計画的に実施した。4月からプラントエンジニア製銃工事室の酒井副室長をオブザーバーで出席していただきコメントをいただいている。 						
2. 日々の作業打ち合わせなどの場において、作業内容の指示と基本行動の徹底 → 安全サイクル(mtg、仕様書/要領書/指示書/現場下見/KY、競合調整)での危険排除	<ul style="list-style-type: none"> ①ジャッキ使用作業に於いて、所長は、監督者から施工要領及び安全ポイントの説明を受け、安全指導を行い「着工許可」を出す流れを確立する。 ②管理者・監督者・指揮者は、安全衛生対策書・施工要領書・安全指示書/依頼書の内容確認・作成を確実に実施。Gr全員が理解し、相互注意と施工ができる職場にする。 ③KYシートの作成時は、Gr全員で話し合い、作業における危険性や危険要因を発見し、解決する能力を向上させる。毎日の日報に、その日の作業で「安全に関する会話」をした回数の記入。(日報の改定) ④全体朝礼の孤立を防ぐ。生浜地区とのリモート朝礼を継続し情報の共有化を図る。KYチェックの仕方⇒チェック項目のポケット版を作成し監督が携帯する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①ジャッキ使用作業の連絡体制の確認と保定実施内容を教育し確実に実施されている。 ②対策書・要領書・指示書/依頼書の内容を確認し、監督者は、施工前にGr全員に説明し、内容を確認した作業者は「緑十字」にサインは確実に実施されて来た。 ③KY内容を確実に作業者が理解できていないヒヤリが発生したため、KYMの強化を図ることを5月から始める。 	<ul style="list-style-type: none"> ②対策書・要領書・指示書/依頼書の内容を確認し、監督者は、施工前にGr全員に説明し、内容を確認した作業者は「緑十字」にサインは確実に実施されて来た。 ③KY内容を確実に作業者が理解できていないヒヤリが発生したため、KYMの強化を図ることを5月から始めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ③KY内容を確実に作業者が理解できているか、KYMの強化を図ることを5月から始めたが、まだまだ第一線者まで理解は不十分。 					
3. 安全教育の実施による知識・技能・意識の高揚 → 標準の整備、教育・訓練、規律	<ul style="list-style-type: none"> ①雇入れ教育 入構会社(作業者)に対し、構内ルールを確実に理解させ、安全意識・作業レベルを確実に把握し、不定時には重点教育を実施していく。 ②安全作業動作標準は、過去分の見直しと新しい作業分を作成する。 ③3ヶ月毎の「重点活動テーマ」を決め教育を兼ねた意識向上を図る。 1月～3月: 相互危険感受性向上、4月～6月: 玉掛け遵守、7月～9月: 熱中症予防、10月～12月: 工事火災防止 	<ul style="list-style-type: none"> ①雇入れ教育実施者: 前半15名を受け入れた。新人教育では、構内の基本的ルールの教育・マストルール教育を実施。 ①-1資格取得は、計画的に受講・取得ができています。⇒全Gr実施継続。 ③3ヶ月毎の重点活動は目標通りに実施しているが「玉掛け作業」で指導を受ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ①-1資格取得は、計画的に受講・取得ができています。⇒全Gr実施継続。 	<ul style="list-style-type: none"> ②安全動作標準の見直しは進んでいない。 ③3ヶ月毎の重点活動は目標通りに実施しているが4月～6月の「玉掛け作業」でマストルール違反の指導を受ける。 					
4. 定期的な幹部のパトロール → 現場実態把握、評価	<ul style="list-style-type: none"> ①管理者・安全担当者のパトロールを毎日実施する。声掛けし危険要因を早期発見し、災害発生を未然に防ぐ。(現場・内作場共に) ②対話/パトロールやMKSパトロールの結果を全体朝礼時に視覚教育し、全員に周知する。自社だけでなく他社の指摘事項・好事例も周知し、安全に対する意識を向上させ「向上度に見える化」を図る。 ③PE各種パトロール全ての指摘内容を数値化・分析し、自社パトロールとの相関性を把握し弱点克服を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ①幹部・安全衛生室のパトロールを毎日実施。危険要因を発見した際は、施工者にすぐ是正させている。・社長・所長パトロール: 1回以上/週・安全衛生室: 毎日パト3時間以上/人) ②パトロール結果を毎日の全体朝礼時でスクリーンに映し、「指摘事項」「好事例」を紹介し安全に対する意識付けを行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ①幹部・安全衛生室のパトロールを毎日実施。危険要因を発見した際は、施工者にすぐ是正させ、翌日の朝礼で紹介し全員に内容を周知した。 	<ul style="list-style-type: none"> ③PE各種パトロール全ての指摘内容を数値化・分析し、自社パトロールとの相関性を把握し弱点克服を図る。 					
5. リスクアセスメントによる作業設備の改善 → 危険の抽出と 作業設備の改善	<ul style="list-style-type: none"> ①監督者は現説等に於いて、危険箇所を探し出す。 ②設備の不具合箇所があれば、監督者はお客様に積極的に改善依頼を提出する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①管理監督者は、必ず現説を行い作業指揮者を含めた全員で条件設定範囲を確認する活動実施中。 5/31協力会社含め全員に教育 ・事前の現地説明 ・着工前確認と着工許可要領 ・作業指揮者の役割 ⇒5/14以降確認不足による災害発生件数「0」 	<ul style="list-style-type: none"> ①パトロールで不安全箇所を是正していただくようにプラントエンジを通して依頼した。 	<ul style="list-style-type: none"> ②設備の不具合箇所があれば、監督者はお客様に積極的に改善依頼をする。 					

『安全成績』 ～無災害記録 5,000日達成～

2022年 8月 8日

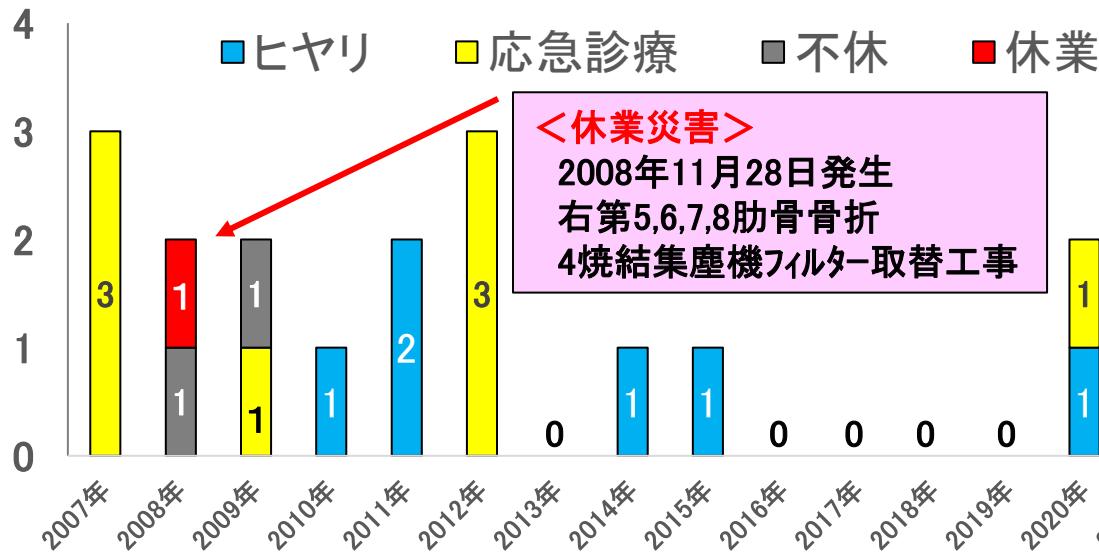
(株)アルファ・メンテック 代表取締役 鈴木 文仁

アルファ・メンテックは、2008年11月28日に発生した休業災害以降**13年以上にも渡って休業災害ゼロを継続し**、**本年 8月8日に無災害記録「5,000日」を達成**することが出来ました。

これは本当に素晴らしい記録で、皆さんの日々の安全に対する努力の成果だと思います。本当にありがとうございます。この記録を更に一日一日積み重ねて行き、「**災害ゼロのアルファ・メンテック**」と言われるように全員の力で、**相互注意(仲間への思いやり)**により災害の未然防止ができる職場を作って行きましょう。

ご安全に！

(災害件数)



無災害記録 : 5,000日
(8/8現在)



自分や部下、同僚、仲間に絶対に「血」を流させない！

～ 今日一日、安全に仕事をして帰ろう！ ～

1. 社内の会議や安全衛生委員会の場を中心に人命尊重の理念の再確認

出来た事

⑤ 1回/週の監督者会議及び毎日の監督者会議内容を全体朝礼時に周知し安全意識を常に高い水準で継続できるように周知した。又、所長訓話を通じて全員に「安全最優先」を常に意識させる事を毎日実施した。

⑥ 毎月計画的に実施した。4月からプラントエンジニア製鉄工事室の酒井副室長をオブザーバーで出席していただきコメントをいただいている。

出来なかった事

③ 毎朝、監督者会議・全体朝礼でその日の作業内容・安全ポイントを共有し反映させたが、理解不足が見受けられる。



何が不足しているのか？

所長&安全室による安全意識ヒヤリングを実施。

8/31全10グループ完了(67名)
(本音が聞けた！)

Q1. 職場・グループの雰囲気を教えてください。

- 良い
- あまり良いとは言えない
- 悪い

◆その理由

自グループの雰囲気は？

Q2. 安全ルールについてどう思いますか？

- ルールは必ず守るべき
- 見つからなければ良い
- 守らなくてもよい

◆その他の意見

安全ルールについて
ルールは必ず守るべき？

Q3. 自分はルールを守っていると思いますか？

- | | | | | |
|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|
| 氏名： | 氏名： | 氏名： | 氏名： | 氏名： |
| <input type="checkbox"/> 思う | <input type="checkbox"/> 思う | <input type="checkbox"/> 思う | <input type="checkbox"/> 思う | <input type="checkbox"/> 思う |
| <input type="checkbox"/> 多少思う | <input type="checkbox"/> 多少思う | <input type="checkbox"/> 多少思う | <input type="checkbox"/> 多少思う | <input type="checkbox"/> 多少思う |
| <input type="checkbox"/> 思わない | <input type="checkbox"/> 思わない | <input type="checkbox"/> 思わない | <input type="checkbox"/> 思わない | <input type="checkbox"/> 思わない |

◆思わない理由

自分はどの位ルールを守っているか？

Q4. 担当監督の安全意識はどうですか？（担当監督名： ）

- 高い
- あまり高いとは言えない
- 低い

◆高い理由・低い理由

Q5. 監督は現場で安全優先ですか？それとも工事優先ですか？

- 安全優先
- どちらかと言えば安全優先
- 工事優先

◆その他の理由

Q5-1. 工事優先と答えた方、なぜそう思いますか？

- ルールを無視して作業させる
- 不安全行動していても注意されない
- 現場にあまりいない

◆その他の理由

Q6. その他要望事項について、お聞かせください。

◆会社・管理者に対して

◆コミュニケーションについて

アンケートではなかなか
本音が出てこない！



本音を引き出す



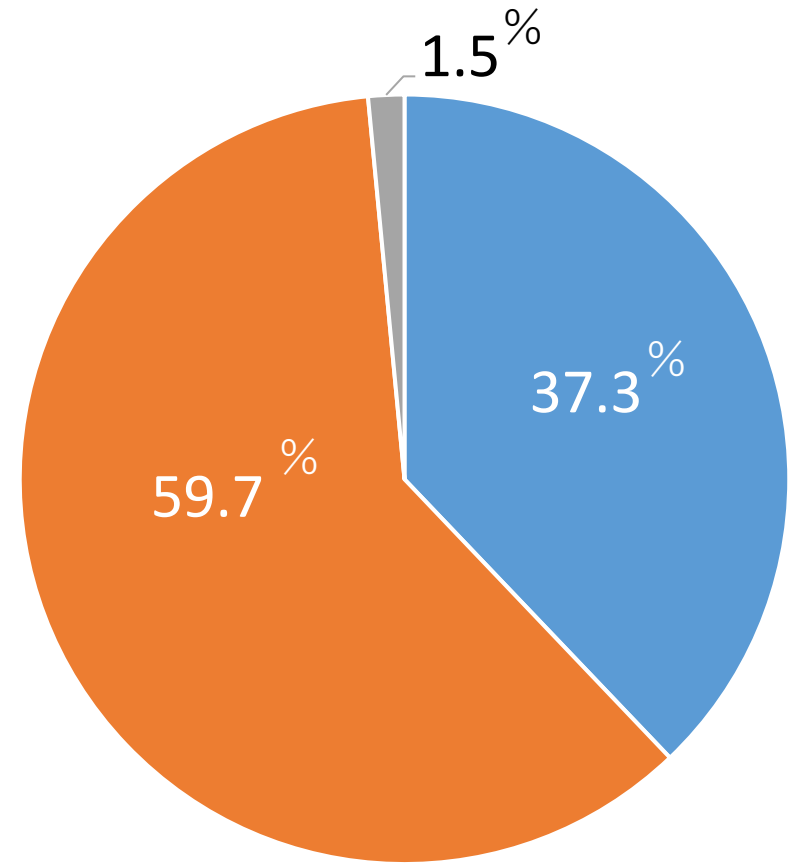
直接聞きだす！
ことにした。



安全ルールを自分の中で
何%くらい守っていますか？

グループヒヤリング結果まとめ

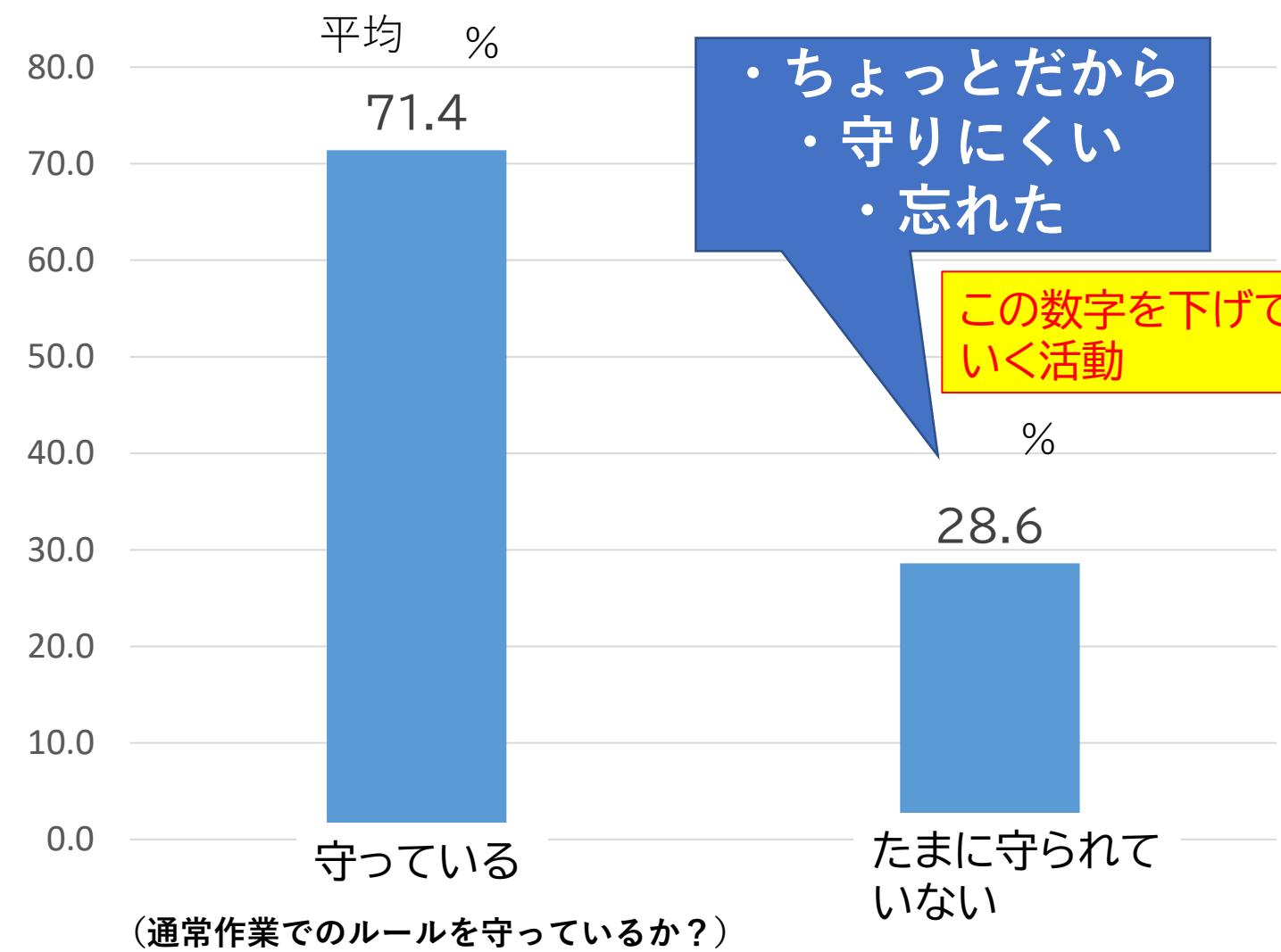
グループの雰囲気は？



■ 良い ■ 普通 ■ 悪い

ヒヤリング人数: 67名

自分は何%位ルールを守っていますか？



ルールについて 今後の活動

ルール

ルールを知っている

ルールを知らなかった

ルールを守っている

時々ルールを守らない
「ちょっとだから」「守りにくい」
「忘れた」

ルールの教育

繰り返しの教育

ルールを継続して守らせる

身につく

- ・指導票の発行
- ・繰り返し伝える
- ・背景を教育する
- ・罰則を与える
- ・その他

- ・朝礼を利用した教育
- ・ハンドブックの提供
- ・積極的な社外への教育参加
- * 協力会主催の教育等

2. 日々の作業打ち合わせなどの場において、作業内容の指示と基本行動の徹底

出来た事

③KY内容を確実に作業者が理解できているか、**KYMの強化を図ることを5月から始めた。**



写真:優良作業指揮者認定評価

出来なかった事

③KY内容を確実に作業者が理解できているか、KYMの強化を図ることを5月から始めたが、**まだまだ第一線者まで理解は不十分。**



その日の作業のKYミーティングを確実に実施できる環境を整える



危険予知の実態把握
(プラントエンジ活動)

危険予知訓練シートを所長以下全員実施

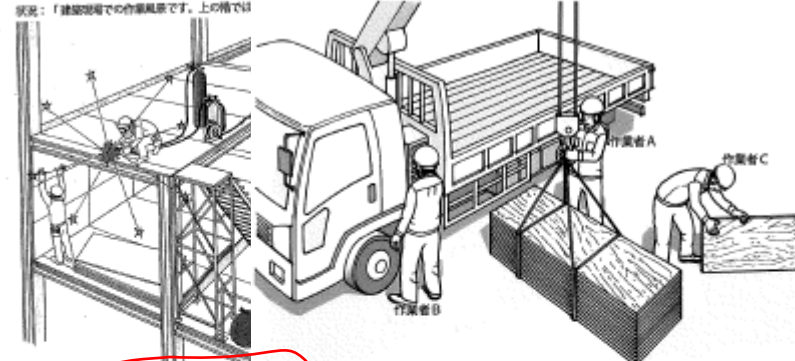
76名実施

20枚のシートをランダムに配布

【出典】株式会社労働新聞社 危険予知訓練（KYT）シート
—JFEプラントエンジニア株式会社 類似災害防止活動支援システム—

KY演習 第5回 危険はどこに潜んでいますか？ 要因抽出Good!

状況：「トラッククレーンを使って、建物の玉掛け作業を行っています。」



作業員Aはワイヤのかけ具合を確認しています。作業員Bはクレーンを操作しようとしています。

危険な箇所を指摘してください 第31回 移動式クレーン

どんな災害が起こる？

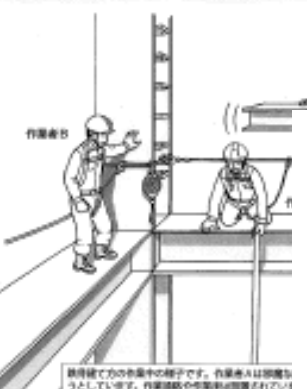
イラストの作業にはどのような危険が潜んでいるでしょうか。

- ①ワイヤのかけ具合を確認していない
- ②ワイヤのかけ具合を確認する人が作業員A以外の人
- ③作業員Bがクレーンを操作する前に、作業員Aの許可を得ていない

安全に作業をするにはどのような対策が考えられるでしょうか。

- ①ワイヤのかけ具合を確認する人が作業員A以外の人
- ②作業員Bがクレーンを操作する前に、作業員Aの許可を得ていない

要因抽出不足!



危険な箇所を指摘してください 第17回 プラントの構築

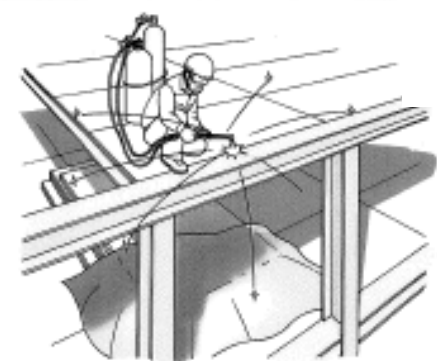
どんな災害が起こる？

イラストの作業にはどのような危険が潜んでいるでしょうか。

- ①作業員Aが作業員Bの作業範囲に入らないように注意する
- ②作業員Bが作業範囲に入らないように注意する

安全に作業をするにはどのような対策が考えられるでしょうか。

- ①作業員Aが作業員Bの作業範囲に入らないように注意する
- ②作業員Bが作業範囲に入らないように注意する



危険な箇所を指摘してください 第34回 ガス溶接作業

どんな災害が起こる？

イラストの作業にはどのような危険が潜んでいるでしょうか。

- ①作業員Aが作業員Bの作業範囲に入らないように注意する
- ②作業員Bが作業範囲に入らないように注意する

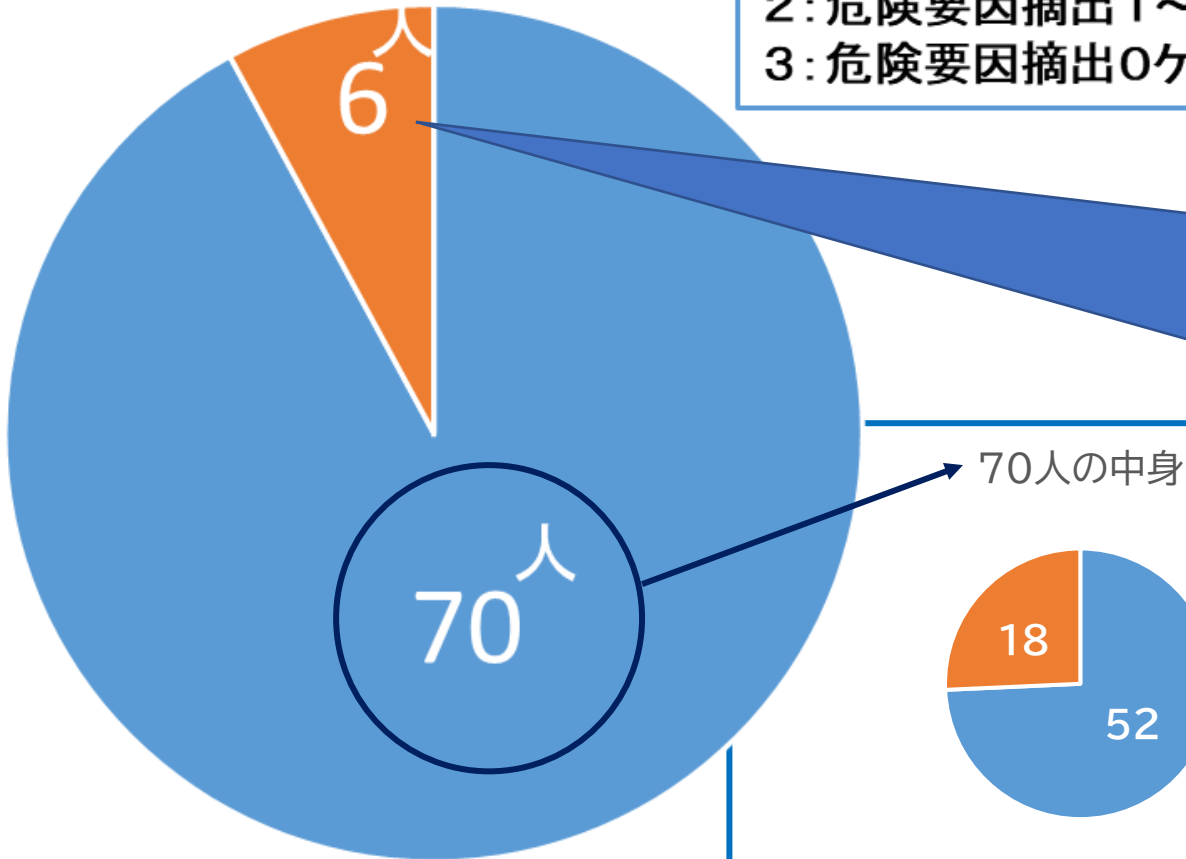
安全に作業をするにはどのような対策が考えられるでしょうか。

- ①作業員Aが作業員Bの作業範囲に入らないように注意する
- ②作業員Bが作業範囲に入らないように注意する

危険予知訓練シート実施結果とフォロー

危険要因抽出個数

- 1: 危険要因抽出4~5ヶ
- 2: 危険要因抽出1~2ヶ
- 3: 危険要因抽出0ヶ



危険要因の抽出個数が少ない作業者とKY不足（全体の3割）



危険要因を想像できないこと = 危険感受性が低い

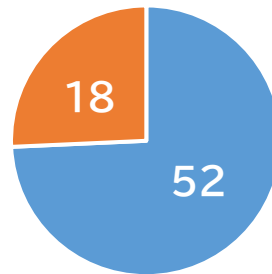


個別の教育と指導

■ 1 ■ 2 ■ 3

■ KY良好 ■ KY不足

70人の中身



3-1. 安全教育の実施による知識・技能・意識の高揚

出来た事

- ①-1資格取得は、計画的に受講・取得ができています。
⇒全Gr実施継続。

出来なかった事

- ②安全動作標準の見直しは進んでいない。
- ③3ヶ月毎の重点活動は目標通りに実施しているが4月～6月の「玉掛け作業」でマスタールール違反の指導を受ける。



銑鋼工事室作業標準遵守活動
7月:玉掛け作業標準



銑鋼Gr監督から教育実施
ハンドブックの配布

3-2. 安全教育の実施による知識・技能・意識の高揚



アルファ・メンテックスローガン
一声かけて・気にかけて
「相互注意」のアルファ・メンテック

現場用垂れ幕作製し現場に掲げる



意識の高揚



以上